

全国高校駅伝 過去最高 21 位

全国高校駅伝が 12 月 25 日（日）、京都市で行われ、女子駅伝部が過去最高となる 21 位でゴールしました。タイムは 1 時間 10 分 51 秒でした。全国という大きな舞台で全員が粘り強く自分の役割を果たし、目標とする 1 時間 10 分台でゴールすることができました。

みなさん、ご声援ありがとうございました！！

【京都市で本社取材班】
 全国高校駅伝は 25 日、京都市の西京極陸上競技場を発着するコースで男女各 47 校が参加して行われた。第 67 回男子（7 区間 42・195 分）は 2 時間 2 分 34 秒で倉敷岡山が初優勝、2 位は佐久長聖（長野）、3 位は九州学院（熊本）が入った。5 年連続の 8 位以内入賞を狙った本県の小林は 2 時間 7

女子 大阪薫英制す



2 区でたすきを受け取り走り出す黒木
 = 第 1 中継所（那良卓郎撮影）

日大健闘 21 位

【経過】宮崎日大は過去最高の 21 位。1 区石井が終盤粘って 17 位でたすきをつなぎ、2、3 区では順位こそ落ちたものの、黒木、田崎とともに区間 10 位台で走った。4 区野崎は設定の 9 分台をクリア。最後は尾籠がトラックに入る直前に 1 人をかわし、目標の 1 時間 10 分台でゴールした。

大阪薫英女学院は 2 区の高松が 9 人抜きの大快走でトップに立つと、3 区、4 区の連続区間賞でリードを広げ、独走態勢を築いた。1 区の和田が首位でつないだ長野東は最終中継所まで 2 位と粘り、6 位でゴール。西脇

工、神村学園は前半の出遅れが響いて先頭争いに加われなかった。
 【男子区間 1 位記録】
 ▼1 区（6 区）和田有菜（長野） 19 分 14 秒
 ▼2 区（4・0975 区）ヘルン・エカレ（薫英・仙台育英） 12 分 39 秒
 ▼3 区（3 区）村尾綾香（大阪薫英女学院） 9 分 51 秒
 ▼4 区（3 区）中島紗弥（大阪薫英女学院） 9 分 17 秒
 ▼5 区（5 区）マター・モカヤ（大分県） 15 分 51 秒
 【宮崎日大の区間記録】丸数字は通過順位かつ区内最前順位
 ▼1 区（石井里佳） 17 分 20 秒
 ▼2 区（黒木裕子） 19 分 13 秒
 ▼3 区（田崎優理） 14 分 10 秒
 ▼4 区（野崎光） 24 分 9 秒

3 年生 2 人粘り発揮

ハイライト
 宮崎日大は昨年の記録を約 1 分縮め、目標の 1 時間 10 分台を達成。力を振り絞ってゴールしたアンカー尾籠は、その象徴が 3 年連続出場となる。1、2 区は「駅伝メンバーに入ると強い思いを込めて、着実に力を伸ばした石井、中学時代から全国大会出場経験のあった黒木は、高が故に悩まされ何度も心が折れそうになったが、周囲の支えを糧に乗り越えた。」

16 年ぶりの都大路出場を決めた 1 年の時から、中心選手としてチームをけん引してきた。黒木は「自分の走りには悔しさが残るが、初めて 10 分台が出てうれし。一丸となつてやってくれた」と涙。石井も「頑張ってくれて良かった。自分が 1 年の時より強い選手が多いので、これからも歴史をつないでほしい」と後輩の活躍に期待を込めた。

（高橋正一郎）

トの上りも腕を振って粘る事ができた
 4 区・野崎光（目標タイムを上回る走り）「1 人で走る展開だったが、半脚が固まったが、ラスト 16 秒 26 秒
 3 区・田崎優理（3 区で区間 14 位）「寒さで後人である展開だったが、ラスト 16 秒 26 秒
 宮崎日大・黒木章監督（目標の 1 時間 10 分台に）「それぞれが自分の力を発揮し、期待通りの走りを見せてくれた」